

第1次 あま市生涯学習推進計画 概要版

● 基本理念

学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって —豊かな地域社会を目指して—

● 本計画の基本的な考え方

基本理念である「学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって —豊かな地域社会を目指して—」の実現には、市民の主体的で積極的な参画が大切であり、社会参画につながる市民の意識や行動の変容のために欠かせないものが生涯学習です。

● 計画策定の背景

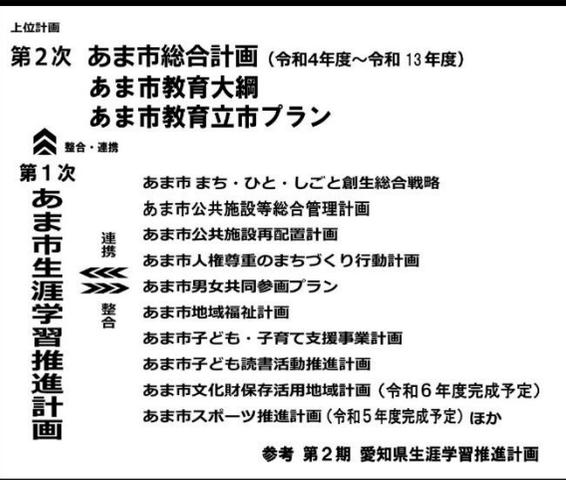
①少子高齢化社会の到来 ②子ども・若者の貧困問題 ③家庭教育の困難化
④情報環境の変化 ⑤社会のつながりの希薄化 ⑥持続可能な社会という価値観の重視 ⑦雇用環境の変化 ⑧外国人の増加による課題

● 計画期間

令和4年度から令和13年度まで

● 計画の位置付け

本計画は、本市の最上位計画である「第2次あま市総合計画」に基づいた生涯学習分野における個別計画であり、「あま市教育大綱」及び「あま市教育立市プラン」との整合、連携を踏まえ、県が策定した「第2期愛知県生涯学習推進計画」を参考に、本市の現状や特性を考慮して策定したものです。



● 推進体制

本計画の推進にあたっては、行政を含めた諸関係機関と市民が協働する体制を整えます。

● あま市生涯学習推進本部

各生涯学習施設より担当を選出し、あま市生涯学習推進本部を設置し、本計画の進行管理を行い、生涯学習施策の推進と発展を図ります。そして施策、事業の進捗状況の管理や関係部局間の協議、調整を行います。

● あま市社会教育審議会の役割

審議会の組織は、学識経験者、文化協会や各団体の長からなるもので、本市の生涯学習活動に対し提言等を行う機関であります。本計画を実行性あるものとするために、重点事業や進捗状況を審議会でチェックするなど、外部の立場から施策の検証を行います。

● 進行の管理

本計画を効果的に推進するため、重点的に進めるものと位置付けられた事業については、個別に指標等を設定し、推進本部にて実施状況を確認し進行を管理します。

● 計画の見直し

計画期間の途中においても社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて具体的な施策の見直しを実施します。

【事務局】 あま市生涯学習課 (美和公民館)

電話 052-442-2261



第1次 あま市生涯学習推進計画について

計画の体系図

本市の目指す生涯学習と目標

第2次あま市総合計画の基本目標Ⅲ施策3「いきいきと学び続けられる環境が整ったまちをつくります」には、基本方針として「市民が生涯にわたり学習やスポーツ活動に取り組むことができるよう、活動拠点の整備・充実、多様な学習機会の確保などを図り、心身ともに健康で活力あふれる市民生活を支援します。」とあります。さらに展開方向として、「市民が気軽に生涯学習に参加できる機会の拡充を図ります。」と記されています。

上記の総合計画をもとに、本計画は、「学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって -豊かな地域社会を目指して-」を基本理念に、令和4年度から10年間の本市における生涯学習の設計図を作成し、その推進を図ります。

本計画の策定により、時代のニーズに合った生涯学習活動を多くの市民に提供し、学習者の主体性を重んじながら、維持・継続できる環境を整え、そこで培った知識や技術を地域や社会に還元し、更なる高みを目指す活動の循環を構築することになります。

イラスト提供・・・愛知県立美和高等学校

基本理念

学びのスパイラル

学び・つながり・かかわって

豊かな地域社会を目指して



基本目標	学 び	目標達成のための主な展開
① きっかけ	1) SNS等の活用 2) 学習機会の充実 3) 新たな地域資源の発見・発信	・ICTを活用しながらより多くの世代に生涯学習活動に取り組むきっかけを提供します。 ・新たな地域資源を発見し、市民に対し情報発信をしたうえで、その活用を推進します。
② 継続	1) 楽しみながら学ぶ 2) 整備	・学習状況に応じ、段階別に講座を設け、学びを深めながら継続します。 ・講座内容を整備、継続できるよう工夫します。

基本目標	つながり	目標達成のための主な展開
③ 連携	1) 専門職員の配置 2) 気軽に相談できる体制の確保	・市民の知識及び学力向上を支援します。 ・市民と職員が日頃よりコミュニケーションをとり、気軽に相談できる関係性を築きます。
④ 協働	1) 相互に学びあえる関係性の構築 2) 本市生涯学習課によるネットワークづくり	・市民同士で学びあえる学習環境を整えます。 ・関係諸機関とのネットワークを密にしながら、各分野での専門性を高め、その知識を地域に還元します。

基本目標	かかわって	目標達成のための主な展開
⑤ 発信	1) 持続と評価 2) 学習情報の提供	・学習活動の成果を発信できる場を提供します。 ・各世代に生涯学習の情報が伝えられるよう、多様な方法、手段により情報の提供に努めます。
⑥ 参画	1) 地域や学校への参画 2) まちづくりへの参画	・地域学校協働本部と連携します。 ・市民の「まちづくり」への参画を推進します。